

ニコニコ箱

ありがとうございました

小谷 正さん お礼をニコニコに頂きました。
 浦 武宏さん 本日はよろしくお祝い申し上げます。
 三毛理一朗さん 浦先生の御来訪を心より歓迎申し上げます。久方にてご健勝を拝し、お慶び申し上げます。
 三毛理一朗さん 米寿ということでお祝いを頂戴しました。自分でも意外であったので感無量です。
 藤田 昌宏さん 浦ガバナー補佐をお迎えして。
 山東 勝彦さん 浦ガバナー補佐さま、クラブ協議会ご指導よろしくお祝い致します。
 村田 昌之さん 小谷正さんの卓話楽しみにしています。
 玉置 博康さん 県高野連出席の日当です。
 岡野 年秀さん 妻の誕生日に美しい花のプレゼントありがとうございます。
 谷口 文利さん 浦ガバナー補佐をお迎えして。
 中山 恒夫さん ガバナー補佐浦武宏様をお迎えして。本日のクラブ協議会よろしくお祝い申し上げます。
 堀井 孝一さん 長崎大学へシステム納品しました。
 田中 完児さん バザーのご協力よろしくお祝いします。
 阪神タイガース応援団一同
 金メダルは星のかなたへ。タイガースは頑張ります。

前田 成蔵さん 第2640地区ガバナー補佐浦武宏さん、本日はよろしくお祝いします。
 檜畑 友洋さん 先日は、家内の誕生日に素敵なお花をありがとうございました。
 【お誕生日お祝い】 三毛 理一朗さん、中村 靖男さん
 八幡 建二さん、亀田 直紀さん



おめでとうございます!

【本日の累計 128,996円(計17名)(お誕生日お祝い 150,000円 皆出席 15,000円 その他 635,142円) 累計額 800,142円】

本日の例会 9月4日(木)

- クラブフォーラム「青少年」
- 卓話「新世代月間に因んで」
2640地区青少年・ライラ委員会
委員長 瀧 成和さん(富田林R.C.)
- ピアノ演奏 中井 利枝さん
ホール・ニュー・ワールド(アラジンより)
星に願いを(ピノキオより)

次回の例会 9月11日(木)

- 卓話「関空のいろいろ」
りんくう電設(株) 取締役 木村 利三さん

市内ロータリークラブ情報	クラブ	日時	内容
	和歌山城南R.C.	9月4日(木)	卓話「新世代のための月間にちなんで」松本 健会員
	和歌山南R.C.	9月5日(金)	「ミャンマー調査報告」会長・国際奉仕委員長・国際交流委員長
	和歌山中R.C.	9月5日(金)	第1回I.D.M.発表
	和歌山北R.C.	9月8日(月)	第1回I.D.M.発表
	和歌山アゼリアR.C.	9月8日(月)	例会変更
	和歌山R.C.	9月9日(火)	例会変更
	和歌山西R.C.	9月10日(水)	例会変更
	和歌山東南R.C.	9月10日(水)	「クラブ活性化について」釜中・中板元会長対談形式

国際ロータリー第2640地区 和歌山東ロータリークラブ 創立/1959年2月23日
 例会場/ルミエール華月殿 和歌山市屋形町2-10 TEL (073) 424-9392 例会日 木曜日 12時30分
 事務局/〒640-8142 和歌山市三番丁6関西電ビル5F TEL (073)432-4343・FAX (073)432-4845
 会報・広報委員会 嶋 弘伸 古屋 光英 笹島 良雄 武田 慎介 吉田 篤生

「夢をかたちに」~Make Dreams Real~

「ロータリーの魅力再発見」

国際ロータリー第2640地区

和歌山東ロータリークラブ

URL: http://www.werc.jp
E-mail: info@werc.jp

2008年 9月 4日(木) 週報 / VOL.50 No.9(通巻2372)



会長報告

八幡 建二 会長



皆さん こんにちは。浦先生、また後ほどクラブ協議会で宜しくお願いいたします。
 9月22日夜、北クラブ様と合同のガバナー訪問例会がございます。北クラブ様とはガバナー訪問にかかわらず、年に一度夜間の懇親会を過去何年も続けております。今年は北クラブ様の幹事ということでお世話していただいてガバナーをお迎えいたします。皆様お忙しい中ではございますが、ご出席をお願いいたします。
 先週、他の会で和歌山刑務所を見学しました。私は2度目ですが、中も外も改装されたのか非常にきれいになっておりました。現在全国で受刑者が7万人、うち女性が4000人いて、そのうち和歌山には500人の定員中、649人で129%と過剰でございます。全国的に受刑者が多く、過剰になっていて困っているようでございます。例えば会議室を改造して10人部屋にしたり、個室を2人にしたり非常に大変な苦勞をなさっているようでございます。和歌山刑務所の平均年齢が45歳、最高は85歳までおられるそうです。また刑期終了までの人は38%で、残りの62%は恩赦等があるため刑期前に出所されるそうです。最近メディアで、無期懲役といっても平均25年くらい、早い人では10年くらいで出所されると言っておりました。
 宿舎塔と工場がありまして、朝から工場まで仕事をして夕方宿舎に帰る生活です。女性ですので工場では縫製などが多く、その商品を販売しております。工場内は塵ひとつ落ちていないほど非常にきれいでした。お風呂も立派で、週に3回、後はシャワーです。またロータリーからも一度見学してはどうかと思います。
 アフガンで伊藤和也さんが若くして亡くなられたという事で、非常に残念なことでございます。

幹事報告

前田 成蔵 幹事



- ・本日例会終了後、ガバナー補佐の浦様をお迎えいたしましてクラブ協議会を開催いたします。
- ・9月10日午後 ガバナー事務所が臨時休業されます。
- ・次年度、ガバナー事務所が田辺に開設されます。詳細は事務局まで。
- ・会長幹事会 市長表敬訪問 写真回覧

ガバナー補佐 ご挨拶

浦 武宏さん



失礼します。まず、この東ロータリークラブが今年で50周年を迎えるようで大変おめでとうございます。
 私が所属する城南ロータリークラブの創立は1988年ですが、その時のガバナーがこちらのクラブの嶋先生で、三毛さんが代表幹事をなさっておりました。当時を思い出しますと、東ロータリークラブの出席率が長い間100%で私はびっくりしておりました。ロータリーの最も基本である例会出席が100%ということはクラブの夢であろうと思います。その夢を長い間実践されたクラブというのは誠に尊敬に値すると思います。今の勝野ガバナーも「夢をかたちに」というテーマのなかで、ロータリアン個々が持っている夢、クラブが持っている夢、をかたちにするのがこのテーマの大きな課題であると言っております。その点でこのすばらしい東ロータリークラブに訪問させていただいて大変うれしく思います。
 後ほどクラブ協議会にも参加させていただけるそうですので、いろいろと勉強させていただいて帰りたいと思っております。本日はどうぞ宜しくお願いいたします。

委員会報告

社会奉仕委員会

田中 完児 委員長



こんにちは。こぼと学園バザー用品のお願いです。来週の例会で締め切りとさせていただきます。是非とも皆様、たくさんのご提供を宜しくお願いいたします。

卓 話

二人の源義経と熊野の金銀

社会工学コンサルタント 小谷 正さん



1. はじめに

本日は、同じ時代を生きた二人の源義経から歴史の闇に忽然と消えたミステリアスな新羅三郎義光流源義経（山本義経）や人々を熊野へ引き付けた鉱物資源というお話をさせていただきます。

このお話は、和歌山県立文書館紀要第10号に発表した「紀州山本氏と近江源氏山本義経一族」に基づくものです。紀州山本氏は、天正13年(西暦1585年)の豊臣秀吉の紀州攻めで、現在の上富田町にあった竜松山城が落城し、城主の山本康忠は奥地に敗走するものの、一年後に藤堂高虎に討たれて滅亡しています。

紀州山本氏が歴史に登場するのは、延文5年(西暦1360年)太平記に四條中納言隆俊が紀州を攻めた記録として紀州龍門山軍事の段に記されています。しかし、それ以前の系譜は明らかでなく諸説があります。その一説が二人の源義経のミステリーにつながるお話であり、権力の源泉としての財力の基である鉱物資源がもう一人の源義経を熊野に導いたのではというお話です。

2. 二人の源義経

ここで時代を南北朝時代から更に170年余りさかのぼり、源平合戦の頃に移し、源氏の系譜を表に掲げて見ますと、源義経が二人いることがわかります。

義経といえば誰もが思い浮かべるのは、源頼朝の弟である源義経でしょう。しかし、同じ時代を生きたもう一人の源義経がいました。それが近江源氏山本義経です。



近江国の山本山山城跡(湖北町)

近江源氏山本氏の由来地は、滋賀県内の他所にもありますが、「近江東浅井郡志」では、源頼義の三男 新羅三郎義光の系譜を引く山本義定・義経親子の頃に、近江国東浅井郡の山本山に築城し、山本氏と称したと伝えられています。

治承4年(西暦1180年)に三条高倉宮以仁王の平氏追討の令旨が発せられました。この令旨は、和歌山にゆかりの深い源行家(新宮十郎)によって、諸国の源氏に伝えられました。

治承4年8月17日に源頼朝が伊豆国で挙兵、9月7日に木曾義仲が信濃国で挙兵、11月7日に源行家が熊野の軍勢とともに尾張で東進する平氏軍の前面に立ちふ

さがります。同月20日に近江源氏山本義経・柏木義兼らが勢多(大津)と野路(草津)で挙兵します。源行家の平氏軍の前面への進出と山本義経らの背後での挙兵は、呼応してなされた密接な関係がうかがわれます。

平氏追討に挙兵した源頼朝・木曾義仲・源行家・山本義経らは、河内国石川郡壺井(現:大阪府羽曳野市)に起こった河内源氏源頼信・頼義に連なる一門です。

治承4年12月に山本義経の山本城は、平知盛らに攻められて落城したことが吾妻鏡や平家物語などに記されています。その後、山本義経は、鎌倉に向かっています。同じ頃、奥州にいた源義経も鎌倉に参着しています。奇しくも、同じ時期に源頼義の子供義光四代目と義家五代目の二人の義経が鎌倉にいます。

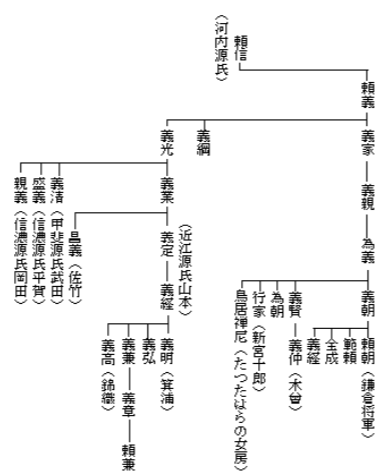
源行家は、甲斐源氏武田氏の力を借りてのこととされていますが、信濃にまわり、木曾義仲とともに寿永2年(西暦1183年)7月に京の都に入っています。この時、山本義経も入洛し、四條より西、九条より北、朱雀より西、丹波の境奥に至る区域の警備にあたっています。しかし、木曾義仲軍の規律はゆるく、横暴な振る舞いで都は混乱します。間もなく木曾義仲と源行家が不仲になり、源行家は別行動を取りはじめます。同じ頃に、山本義経も木曾義仲と袂を分かったようです。

寿永3年12月には、源頼朝の命をうけた源義経に、木曾義仲(征夷大將軍)が宇治で大敗します。この戦いには、何故か山本義経の名はなく、子の義弘の出奔が記されています。そして、源義経が入洛し、歴史に颯爽と登場すると、入れ替わるように山本義経が歴史の記録から消えてゆきます。(近江東浅井郡志等)

このためにか、山本義経と源義経が同一人物だとの説も生まれています。

源頼義の墓(河内源氏発祥の地:羽曳野市)

源氏関連略系図



「国史大辞典・系図纂要・和歌山県史にて作成」

3. 熊野の金銀

歴史から忽然と消えた山本義経の行方、それはミステリーです。どこに向かったのでしょうか。向かった先は、熊野であったと考えられます。

源頼朝が征夷大將軍に任じられたのは、建久2年(西暦1192年)のことです。しかし、それよりも前、源頼朝の天下が固まった頃には、源行家と一時行動をともにした山本義経とすれば、一族再起の拠点となる荘園の開墾地を求めて、熊野の山深くに分け入らなければならなかったことも源義家流と源義光流の対立の構図から頷けます。源行家から熊野の情報を得ていた山本義経は、荘園の発達した海岸沿いを避けて、高野山から熊野へ向かったと見られます。



金鉱石(紀和町鉱山資料館展示他所産出物)

近江源氏発祥の地と入鹿に共通するのは「鍛冶」です。湖北は、古代から製鉄の地で、湖北山本の近く国友村から後世に鉄砲で有名な国友鍛冶がでます。山本義経一族の山主邑(後の入鹿荘)の押領は、鉱物資源に目をつけ、タタラ職人を伴ったもので、刀鍛冶も後に招いたとみられます。刀鍛冶は、大和からとみられていますが、明らかではないものです。入鹿は、古刀期に大和手掻派の入鹿鍛冶として名を残し、湖北地方が大和手掻派の一大拠点となる美濃地方と接しているのは、偶然ではないようにみえます(日本刀辞典等)。また、熊野の山主集団は、戦国時代に甲斐に移り、黒川金山の金山衆として金山の開墾のみならず城攻めの武功(熊野の田辺四郎左衛門尉)で史料に記されていて存在が明らかです(山梨県の歴史等)。

山本義経一族の末裔は、入鹿の近辺で産する金銀銅鉄や刀などの生産で勢力を蓄えて本宮に進出したとみられます。本宮の山本氏は、入鹿八幡宮の大永3年(西暦1523年)の棟木の一族寄進に「本宮ノ子」として存在が記されています。また、この地の大谷鉱山は、岸壁に刻まれた「延元2年」の文字から南北朝時代には稼働し、入鹿の鉱物資源が南朝方の軍資金の一つとなったとみられています(紀和町史等)。

入鹿に入って170年余り後、既に本宮に居を構えていた紀州の山本氏は、南北朝の動乱を背景として、熊野八庄司山本判官忠行の頃に、現在の国道311号に沿って田邊方面へ勢力を拡大し、市ノ瀬(現:上富田町)に土着したとみられます。市ノ瀬の山本氏には、本宮からの進出であることを示す興禅寺文書などの史料があります。また、入鹿と同様に市ノ瀬の周辺には、清水・鉛山谷・高垣などの鉱山があり、「古くより鉱穴あり」(紀伊続風土記)と記されています。

市ノ瀬の清水鉱山は、銀を含有する方鉛鉱を産出する銀鉱床の鉱山だとされています(上富田町史)。紀州の山本氏には諸説があるものの、山本氏の居城が市ノ瀬(竜松山)に築かれた意味こそが、本宮から入鹿を介して鉱物資源と鍛冶で湖北の山本へ連なり、近江源氏説を裏づけするようにみえます。ちなみに、以仁王から平氏追討の令旨を取り付けた撰津源氏源頼政の撰津には多田銀山などの鉱山があります。また、源頼朝は、源義経にからめて奥州藤原氏を滅ぼしましたが、目的は奥州の金であったともみられます。

鉱物資源は、源氏一門の繁栄と勢力の保持にとって有力な手段の一つでした。源平合戦の近江源氏山本氏と南北朝争乱期の紀州山本氏との間の空白は、史料と財力となる鉱物資源でつなぎあわせると、熊野へ入り、入鹿から本宮・市ノ瀬へと転回し、170年余り後に、再び龍門山の戦に熊野八庄司山本判官として名を記すという軌跡が浮び上がってきます。

4. おわりに

歴史は、むやみに推論することは慎むべきですが、幾つかの史料をつなぎ合わせると豊かな造形とロマンをなして見ることができます。熊野の鉱物資源の歴史は古く、また金・銀・銅の豊富な鉱脈で知られる紀州鉱山(紀和町)では最盛期には日量3000トンを生産しています。しかし、熊野の金・銀が歴史的な出来事と結びつけられることは殆どありません。東北や山陰と比べれば都に近い熊野の金・銀が歴史を動かす原動力になったと見るのは歴史の新たな側面を切り出すことにつながると思います。今日のお話は、歴史を楽しむという視点でご理解を賜れば幸いです。



水車谷鉱山付近の楊枝川(紀和町)